



令和6年度かながわ探究フォーラムに参加しました！

2025年3月16日(日)横浜国立大学教育文化ホールにて令和6年度かながわ探究フォーラムが開催され、Principia Iから1チーム、Principia IIから2チームがポスター発表を行いました。かながわ探究フォーラムとは神奈川県内のSSH校、理数教育推進校、STEAM教育研究推進校等が先進的な事例を広く共有し、探究活動の成果発表を行うイベントです。以下、発表メンバーと研究内容です。

【研究内容】

「発音と発声の関係性」79期 佐藤 優夢さん、村田 詩絵莉さん、福島 将さん、川崎 琉斗さん

「マイクと幸福度の関係性」78期 塩田 彩乃さん、渡邊 清美さん、安藤 優花さん、岡本 弥子さん

「福德岡ノ場由来の軽石の化学組成：天神島の例から」78期 皆越 美希さん

「発音と発声の関係性」

Q:発表に向けて準備したこと

私たちが行った研究は音楽という分野だったため、専門的な用語や馴染みのない内容が多かったです。そのため、どうすれば分かりやすく伝えることができるかを常に意識しながら準備に取り組むことができました。

79期2組 村田 詩絵莉

Q:会場の様子

探究フォーラムの会場ではSSH校等の高校生が集まっているため厳粛な雰囲気があった。質問・意見も積極的に述べていて、内容も鋭く自分では思いつかないような考え方方に気づくことができた。

79期1組 佐藤 優夢



「マイクと幸福度の関係性」

Q:他校の発表を聞いて

私は他校の発表を聞いてとても印象に残っていることがあります。それは、質疑応答に完璧に答えていた姿です。それだけ、熱意を持って研究に取り組んでいたのだと感じ、その姿勢を学びたいと思いました。

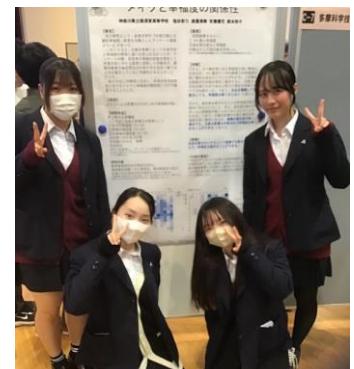
78期5組 安藤 優花

Q:発表をした感想

多くの方の前で発表したことは私にとって、これまでにない貴重な経験です。

また、他校の方の発表の仕方や、いただいたアドバイスなど数多くのことを得ることができました。

78期2組 渡邊 清美



「福德岡ノ場由来の軽石の化学組成：天神島の例から」

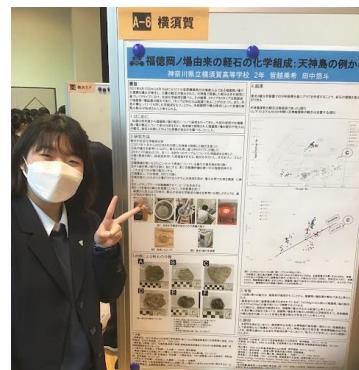
Q:後輩へ一言

時間をかけてでも先行研究はしっかりと読んだ方がいいと思います。また、ポスター作成時には誰が読んでも理解することができるということを意識して作ると研究結果を最大限みんなに伝えることができると思います。

Q:会場の様子

実際にその分野を研究している人から助言を頂く機会があった。他の学校の人たちからの鋭い質問や意見も多くあった。また、発表が論理的にできているか、先行研究のどこを参考にしたかについて問われることもあった。

78期2組 皆越 美希



実際に使用したポスターはAB棟間2階渡り廊下(東)に掲示しています。ぜひご覧ください！